キリング・カー（1986）

KILLING CARS

メディア 映画
ジャンル ドラマ　サスペンス
製作国 西ドイツ
時間 104分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

技師ラルフ・コーダは電気スポーツカー・ワールドカーの試作を続けていたが会社のとある派閥はこれを潰そうとしていた。そしてワールドカーは街に巣喰うパンク集団に奪われ暴走を開始する……。パッケージでも前面に押し出されているワールドカーは７０年代風のウエッジシェイプでなかなかカッコ良いが、映像の方も７０年代を引きずったような“けだるい空気までも閉じ込めたような感じ”でハリウッドのジェットコースタームービーに飽きた人にだけは奨められる。見ている方としては最近キレた役の多いプロフノウがいつプッツリ来て人を轢きまくるのかと楽しみにしていたのだが最後まで理性を保っていて何か物足りない……。またラストのクレジットで監督名が消えたあと、画は渋滞風景のまま延々と１分以上も音楽が流れているだけというハズした感覚も、最近のハリウッドではなかなかお目にかかれない代物である。

【クレジット】

監督	ミヒャエル・ファーフーフェン	Michael Verhoeven
製作	アルバー・ソニック	
脚本	ミヒャエル・ファーフーフェン	Michael Verhoeven
撮影	ジャック・スタイン	Jacques Steyn
音楽	ヨッヘン・シャバルツァット	
出演	ユルゲン・プロフノウ	Jurgen Prochnow
	センタ・バーガー	Senta Berger
	アニエス・ソラル	Agnès Soral
	ダニエル・ジェラン	Daniel Gelin
	ウィリアム・コンラッド	William Conrad

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.